

かけ橋



朝霞台中央総合病院広報誌

～栄養士さん・調理師さんが考えた健康ごはん～ 「春キャベツの生パスタ」

担当:調理師 関谷成美

作り方

- ①アスパラを4cmに、キャベツを短冊切りにして、塩茹でする。
- ②たかのつめ、にんにく、ベーコンをフライパンに入れて、オリーブオイル(大さじ1)と絡める。火をつけて、弱火でベーコンをほんのり焦がす。
- ③アスパラとキャベツを入れて軽く炒める。
- ④たっぷりの湯にオリーブオイル(大さじ1)を入れて、沸騰させる。生パスタを茹で、水気を切った後オリーブオイル(大さじ1)で絡める。
- ⑤具の中にパスタを入れ、軽く和える。
- ⑥塩・胡椒で味を整え、皿に盛り、上に粒胡椒をかけ、クレソンを飾る。



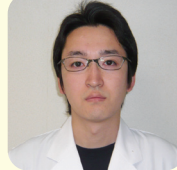
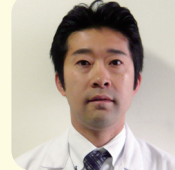
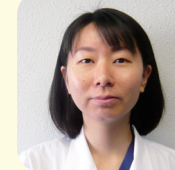
作った調理師の感想: 春らしい色どりのパスタにしました。生パスタが固まりやすいので、茹でた後オリーブオイルでからめるとくっ付き防止になります。

食べた調理師の感想: 春キャベツの甘み、ベーコンの塩味など、味のバランスが良いパスタでした。見た目も爽やかなので、春にぴったりの料理です。

材料 (一人分)

生パスタ 90g	アスパラ2本
にんにく 1/2 片	たかのつめ 1/3本
ベーコン1枚	オリーブオイル 大さじ3
キャベツ3枚	粒胡椒 少々
クレソン1本	塩・胡椒 少々

新任医師の紹介

						
耳鼻咽喉科部長 仲田 拓人 (なかたひろと)	整形外科 大村 泰人 (おおむらやすと)	脳神経外科部長 久保田 有一 (くぼたゆういち)	脳神経外科 岡本 沙織 (おかもとさおり)	外科 齋藤 元伸 (さいとうもととのぶ)	外科 志鎌 杏子 (しかまきょうこ)	麻酔科 星 郁恵 (ほしいくえ)
H23.1.1入職	H23.2.1入職	H23.4.1入職	H23.4.1入職	H23.4.1入職	H23.4.1入職	H23.4.1入職

みなさまからのご意見・ご質問にお答えします

医療サービス向上委員会

当院では、病院サービス向上の一環として院内7ヵ所(外来、病棟)に「ご意見箱」を設置しており、皆様からのご意見・ご質問などを随時受け付けております。ここでは、ご意見箱に寄せられた皆様からのご意見と、それに対する回答をいくつか紹介させていただきます。今後もより良い病院を目指し、皆様のお声に耳を傾けてまいります。

ご意見 マスクをしていないお見舞いの方が多く、必ずするようにしてほしいです。(23年03月)

▶回答 現在、感染対策としてお見舞いの方にはマスクをお願いしています。お見舞い・面会時は、ご協力をお願い致します。

ご意見 整形外科の手術後、娘が泣いた時など色々と助けてくださりありがとうございました。先生方をはじめ病棟のスタッフの皆さんはとても親切で、いつも笑顔で対応してくれたので、とても良い入院生活でした。(23年03月)

▶回答 ありがとうございます。励みになるお言葉、大変うれしく思います。これからも病院理念である「高度な医療で愛し愛される病院」「患者様を自分の家族と思う医療」に近づけるよう努力致します。

ご意見をお聞かせ下さい。

より良いサービスを提供するために、皆様のお声をお待ちしています。



朝霞台中央総合病院

〒351-8551 埼玉県朝霞市西弁財1-8-10
TEL. 048-466-2055(代) FAX. 048-466-2059
ホームページ <http://www.asakadai-hp.jp/>

携帯電話からは携帯サイトをご覧ください
右のQRコードを読み取ってください。



- 標榜診療科目
内科 外科 小児科 整形外科 脳神経外科 皮膚科 泌尿器科
眼科 耳鼻咽喉科 婦人科 形成外科 麻酔科
- 診療時間／
平日9:00～12:00 14:00～18:30
土曜9:00～12:00 14:00～17:00
(各診療科により診療時間が異なります)
- 外来休診日 日曜、祝日・年末年始(12/30 PM～1/3)、診療科により土曜日緊急の患者様は24時間受付しています。
- 救急外来 専門医が不在の場合もあります、電話にてご確認ください。

発行日:平成23年4月21日

朝霞台中央総合病院広報誌

朝霞・和光・新座・志木の4市を主な診療圏とし、地域の皆様の健康を共に考えていきます。

- 医師コラム・・・耳鼻咽喉科仲田医師「めまい」のあれこれ
- 化学療法室のご紹介 ●検査機器の紹介／デジタル一般撮影装置・最新超音波画像診断装置 ●視能訓練科の部屋 ●がんばってます新社会人 ●ホームページをリニューアルしました ●落語会のお知らせ ●つくってみませんか? ●新任医師紹介 ●みなさまからのご意見箱・ご質問にお答えします

Vol.17

がんばろう日本!






この度の東日本大震災で被災された皆様に心よりお見舞い申し上げますとともに、お亡くなりになられた方々とご遺族の皆様に対し深くお悔みを申し上げます
朝霞台中央総合病院 職員一同

『東日本大震災被災地復興支援TMGソフトボール大会』が行われました
TMGグループでは毎年春ソフトボール大会を開催しておりますが、本年は被災地の復興支援の一環として開催させていただきました。当日は今回の震災で用具を失ってしまった被災地のソフトボール選手たち(小・中・高校生)を支援すべく、ボール・バット等の用具の寄付を募りました。集まったソフトボール用品は、日本ソフトボール協会を通じ部活動再開を心待ちにしている被災地の選手たちへ送られることになっています。今私たちTMGグループとしてできることは、4月に入職した新入職員も含めグループの職員が一丸となり、被災された方々が一日も早く以前の生活に戻る為に支援を継続して行くことです。今後も東北地方の病院や行政機関と連携し出来る限りの支援を継続して参ります。

- | | | |
|---------------------|--|--|
| 集まったソフトボール用品 | ソフトボール新球の寄付 | ソフトボール用具の寄付 |
| ●30ダース(360個) | ●バット 50本
●ボール 343個
●グローブ 34個
●スパイク 9足 | ●バック 4個
●ジャージ 10着
●手袋 2着
●ロージン 2個 |

朝霞台中央総合病院関連施設

朝霞台中央総合病院 附属第二診療所 埼玉県朝霞市西弁財1-3-6 電話: 048-466-8066 http://www.tmg.or.jp/asakadai_doc/ 	朝霞台中央 訪問看護ステーション TEL. 048-466-1814 http://www.asakadai-hp.jp/houmon/ 	介護老人保健施設 グリーンビレッジ朝霞台 朝霞市大字宮戸3番地 TEL 048-486-6622 http://gv-asakadai.tmg.gr.jp/ 利用者募集中! 通所リハビリ／一般入所／短期入所 
---	--	--

医師のコラム

「めまい」のあれこれ。朝霞台中央総合病院
耳鼻咽喉科 仲田医師

「めまい」の症状のいろいろ。

「めまい」を訴えて受診される患者さんの症状は、一言に「めまい」と言っても一律ではありません。グルグル回るめまい(回転性めまい)を訴えられる方がいらっしゃいます。いわゆる「めまい」とは、医学的には、この回転性のものをさします。多くものは、耳に原因があり耳鼻科の病気になります。

また、グラグラ、ふわふわと揺れるめまい感(浮動性めまい)を訴えられる方がいらっしゃれば、クラツとする立ち暗みのようなめまい感や目の前が一瞬暗くなるようなめまい感(眼前暗黒感)を感じる方もいます。これらの揺れる感じや眼前暗黒感などの「めまい」を「めまい感」と呼んで「めまい」と区別しています。「めまい」を生じると、それに伴って自律神経失調様の症状が出現し、気分不快、嘔気、嘔吐、冷汗、油汗、動悸、不安など種々の症状が出てきます。乗り物酔いの症状とよく似ています。

他に、大切な症状としては、頭痛や上手くしゃべれない、顔や手足、体の動きや感覚がおかしいなどを伴う時は、頭からのめまいを疑いますのでまずは頭を診てもらいましょう。

「めまい」は何科に受診すればよいのでしょうか？

これら「めまい」や「めまい感」は、約9割が耳に原因があると言われていますので、多く場合は耳鼻科で診療を行います。

しかし、約1割に脳(中枢:脳の障害や脳血管系の傷害など)の病変や不整脈などの心臓(循環器など)の問題など、耳以外に病気があることとなります。したがって、脳や心臓などに問題が無いかをしっかりと確認するのが重要になります。そのため、脳神経外科、神経内科、循環器内科、整形外科などでの検査、治療が必要になることがあります。

「めまい」や「めまい感」を生じる病気には、どんなものがあるのでしょうか？

耳鼻科の病気としては「良性発作性頭位めまい症」「メニエール病」「前庭神経炎」「突発性難聴」「ハント症候群」などがあります。脳神経外科、神経内科の病気としては、



「脳卒中(脳出血、脳梗塞)」、「椎骨脳底動脈循環不全」「聴神経腫瘍など脳腫瘍」「多発性硬化症」などがあります。循環器科、内科などの病気としては、「起立性低血圧」「不整脈」「低血糖」「貧血」「自律神経失調症」などがあります。他に、整形外科の病気として「脊柱管狭窄症」「後縦靱帯骨化症」などがあります。

耳鼻科で治療する「めまい」の代表的な病気「良性発作性頭位めまい症」

「めまい」の原因となる病気中最も多いと言われております。寝起きや寝返りなど頭を動かした時に数秒から数分間グルグルと眼が回り、じっと安静にしていると徐々に落ち着いてきます。また、頭を動かすと「めまい」を繰り返します。基本的には、聴こえの悪化や耳鳴りの悪化はなく、吐き気はあっても軽度です。

内耳の三半規管の中に入り込んだ砂(浮遊物)が、頭を動かすと、砂がコロコロと動くため眼がまわるというわけです。積極的に頭を動かす運動をして「めまい」に慣らしていくことが、有効な治療となります。したがって、じっと安静にしているとなかなか症状が改善してきません。

ただし、頭の病気によって似たような症状も出ることがありますので、必要に応じ頭の検査を行うこともあります。

「メニエール病」

急にグルグルと眼が回り、どちらかの耳に詰まった感じや低い音が聞こえにくい感じがして、耳鳴りを伴うことが多いです。また、めまいと共に嘔吐や吐き気を伴うことがあります。これらの症状を繰り返すことが特徴です。

内耳の中の内リンパという液体が過剰になり内耳がむくむこと(内リンパ水腫)が原因と言われております。なぜ内リンパが過剰になるのか、詳細は不明です。

したがって、内耳のむくみを取ることが治療となります。また、ストレス、疲れ、寝不足なども症状悪化につながりますので注意しましょう。

「前庭神経炎」

この病気も急に眼がグルグルと回りだし、吐き気や嘔吐を伴うことがあります。聴こえや耳鳴りの悪化はありません。めまいは、数日間続くことがあります。グルグル回るめまいが治まったあとでも、体のふわふわする感じがしばらく残ることがあります。

これは、体のバランスの神経(内耳の前庭や三半規管、前庭神経)に炎症を生じるために起こります。風邪症状に引き続いて起こることが多いです。原因はウイルスによると言われていますが不明です。

激しい「めまい」が取れてきたら、体を積極的に動かし慣らしていくことが大切です。

「突発性難聴」

突然、片方の聞こえが悪くなることで気がつきます。「めまい」がある人と無い人がいます。

発症後、数日以内には耳鼻科に受診し治療を受けましょう。1か月以上経過すると治療を行っても聴力改善の見込みは、低くなります。

基本的には、片側につき一生で一回の病気と言われています。原因は、血流の障害やウイルスなどいろいろと言われていますが不明です。



外来化学療法室のご紹介

平成23年2月21日より外来化学療法室が使用可能となりました。お部屋は化学療法(抗悪性腫瘍剤による注射等)をお受けになる患者様のご使用の対象になります。

化学療法を行う患者様は白血球が下がり感染を起し易い状態です。今までは注射室にて様々な患者様と同じ部屋で治療を行ってまいりました。外来化学療法室で治療を行うことで、院内で感染する危険性が低くなります。また、化学療法を行う患者様が少しでも快適な環境(リクライニング機能付きベット・液晶テレビの設置)にて、長時間の治療でも出来るだけリラックスしてお過ごし頂けるように整備しました。

外来化学療法室では専任看護師、薬剤師、メディカルクラークが、今まで以上に患者様の治療を安全にサポートし、患者様が安心して治療ができるように頑張っています。

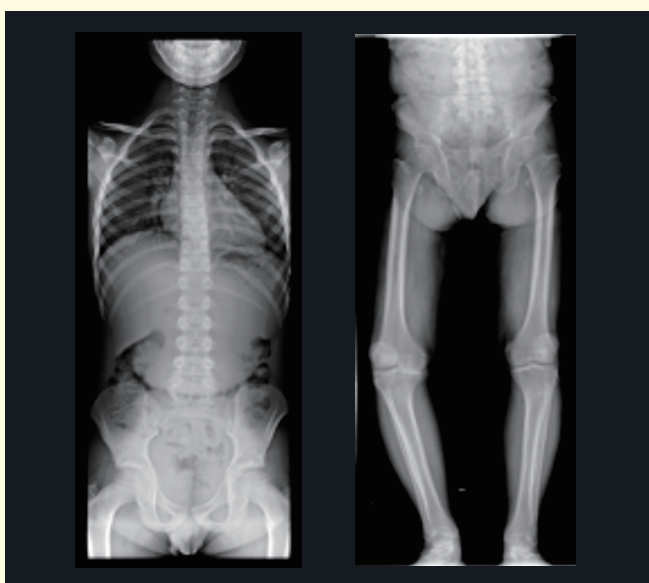


多数の先進機能を搭載したフラットパネル搭載 デジタル一般撮影装置(Definium8000・Definium6000)の導入



今回導入した2台の装置には最新鋭のフラットパネルが搭載されており、低線量で高画質の画像が得られます。
それにより従来の装置よりもさらに撮影時の被曝が低減されました。
また、VolumeRAD(トモシンセシス撮影)、デュアルエナジーサブトラクション、オートイメージペーストフルオート長尺撮影などの多彩なアプリケーションの搭載により、今までにない新しい画像の提供が可能となりました。

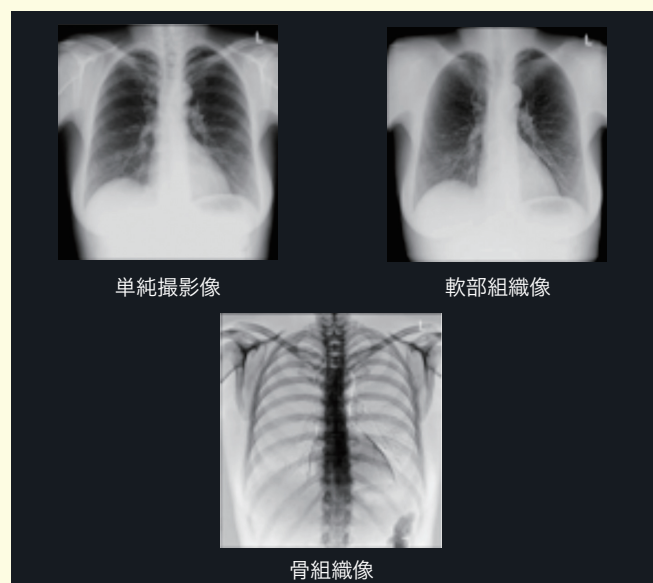
オートイメージペーストフルオート長尺撮影



最大5画像(150cm)を自動的に収集し、各画像の位置や濃度を最適に調整したうえで瞬時に合成。全脊椎/全下肢領域における撮影をスムーズにし、より鮮明で正確な画像を提供する事ができます。



デュアルエナジーサブトラクション



単純画像に加え、骨を除いた軟部組織画像、および骨組織画像を作成します。
デュアルエナジーサブトラクションは胸部、腹部領域の検査に適用でき、今まで描出しづらかった骨に重なって見えにくい病変や石灰化異常などの描出に適しています。

VolumeRAD (トモシンセシス撮影)

VolumeRAD(トモシンセシス撮影)は一回の撮影で照射角度を変えながら複数枚撮影し、連続的な画像データを収集、画像再構成を行い、検査部位の鮮明な多断面画像を一度に取得する新しい技術です。
取得した多数の画像情報をもとに、任意の深さの断層面を生成する事で、重なり合う臓器の奥にある、身体の深部の状態を観察可能にし、様々な領域に新たな臨床的付加価値を提供することができます。

最新超音波画像診断装置 導入

(GE ヘルスケア ジャパン社 LOGIQ E9)



超音波検査(エコー検査)とは、超音波を使って体の中の病気を調べる検査です。

エコー検査は、肝臓・胆道・脾臓・腎臓といったお腹の中の臓器全般から、心臓や血管・乳腺・甲状腺などの検査をすることができます。

超音波検査(エコー検査)は、とても安全な検査なので産婦人科の診察でお腹の中の赤ちゃんの発育具合を検査するのに使われています。

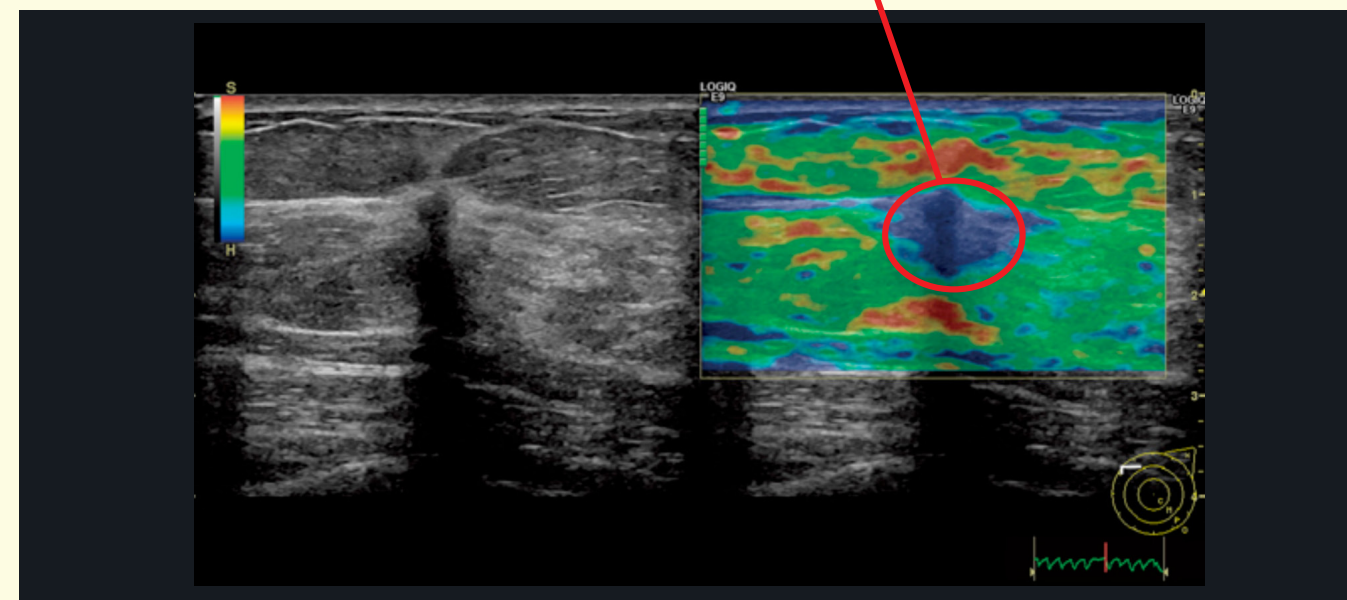
特徴

今回導入した超音波画像診断装置では、新開発の探触子(プローブ)により、従来は熱となりロスしていた音響エネルギーを利用し、高感度に超音波を送受信できます。また、新開発ビームフォーマーにより、画像情報を自動計算することで最適な送受信条件をリアルタイムに生成し、均一な超音波ビームで送受信します。また、検査データを保存し、検査後に保存画像の調整、計測、再度見直しが可能となり、1回の検査から多くの情報を得ることが出来ます。
高精細な画像や検査効率の改善により、正確性、安全性、効率性が向上し、患者様の負担の軽減につながりました。

エラストグラフィ

乳がん検査をサポートするエラストグラフィが搭載されています。エラストグラフィとは超音波検査でしこりの硬さを画像化することができます。がんは硬いと考えられますので、しこりの硬さを知ることは診断の一つの重要な情報となります。

“しこり”を色の違いで見分けることができます





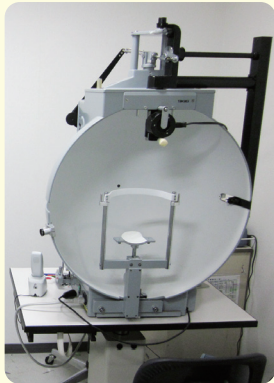
視能訓練士科の部屋



●ハンフリーフィールドアナライザー (HVF)



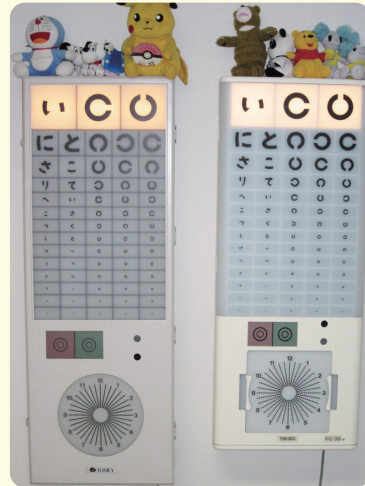
●大型弱視鏡 (synopt)
→小児の斜視、弱視などの
精密検査で使用します。



●ゴールドマンフィールドアナライザー (GVF)
→視野(見える広さ)を調べます
…脳神経外科疾患、緑内障など



●眼底カメラ
→眼底の写真撮影
糖尿病など様々な全身疾患を調べます



●視力検査表
→視力、眼鏡、コンタクトレンズ、
斜視の検査で使用します



視能訓練士とは???

視能訓練士科は眼科の検査全般を行う業務です。

その他、小児の斜視弱視の治療、造影剤を使った検査、局所麻酔手術の立ち会いや補助などの幅広い業務を行っています。

また、医師・看護師・事務の“かけはし”役でもあります。

○外来診察の検査業務

視力検査・視野検査・眼圧検査など

○斜視弱視訓練

○蛍光眼底造影検査

○斜視手術補助、定量(術式の決定)

幅広い業務に対応できるよう、大学病院への研修や実習生の受け入れなども積極的に行い視能訓練士ひとりひとりが能力を高めるよう努力しています。



視能訓練士からひとこと

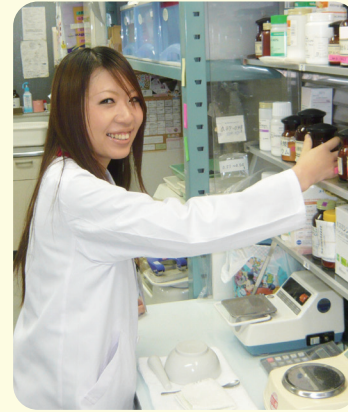
【コンタクトレンズについて】

コンタクトレンズのトラブルが多くなっています。忙しくてコンタクトレンズの注文のみになり、なかなか定期検査を受けられないことも多いと思いますが、トラブルが重症化すると大変なことになります。必ず定期的に検査を受けるようにしましょう

【眼疾病について】

眼の症状から全身の病気が見つかることも少なくありません。少しでも症状があれば軽視せず、早めに眼科を受診してみてください。

がんばっています。新社会人!



薬剤師 小野由希子

薬剤師として働き始めてもうすぐ1年になります。

仕事を始めた当初は失敗の連続で、先輩や他の職種の方々に迷惑ばかりかけていました。今ではだいぶ仕事にも慣れ、最近は服薬指導も始まって患者さんと接する機会も増えてきました。初めて服薬指導をして「ありがとう」と言われた時は、こんな私でも少しは患者さんに貢献できたのかととてもうれしく感じました。そんな日々の中で私がつくづく思うことは、どんな仕事でもそうだと思いますが、特に人の命にかかわる薬剤師の仕事の責任の重さです。自分が調剤した薬、自分の言った一言が患者さんへの貢献につながるかどうかは、大げさに言えば自分の手にかかっているということを改めて痛感しています。

これからは総合病院という勉強するには恵まれた環境であることを活かし、患者さんへの貢献に少しでも結びつくようにしっかりと勉強して知識を豊富にし、患者さんへはもちろん、他の職種の方々からも頼りにされる薬剤師になりたいと思っています。

ホームページをリニューアルしました <http://www.asakadai-hp.jp/>

お役立ち情報
- Useful Information -

■医療に関わるトピックス ■治療費あれこれ ■各科コラム

医療に関わるトピックス

医療に関わるトピックスを、わかりやすくご説明します。意外と知られていないこともあるかもしれません。

- 保険証
- 特定療養費
- 高額療養費
- 健康診断
- 各種書類
- 介護保険
- 生活保護
- 労災
- 第三者行為
- 交通事故

医療に関すること
治療費に関することを
わかりやすくお伝えしています
是非ご覧ください。

治療費あれこれ

受診する際、症状や受診する科によって、治療費も大きく変わります。どのくらい目安を知っておくと安心ですね。ここでは、一般的な症状と、手術を受けた場合の治療費の目安を計算してみました。

- 治療費あれこれ

各科のコラム

各科の担当者が、生活に役立つタイムリーな話題をお届けします。

- 各科のコラム



落語会開催のお知らせ

『笑いは病を治す』ともいわれています。気軽に落語を楽しんでみませんか? 沢山の方のご参加をお待ちしております。

日時 平成23年5月14日(土)午後3時より
場所 リハビリテーション室
演目 落 語 柳家我太楼師匠/春風亭一力
腹話術 きんじ 予定